

PREVENTION OF COMMUNICABLE DISEASES

The numerous diseases which affect man can be divided into two groups known as (a) communicable disease (spreads from one person to another) and (b) non-communicable diseases (does not spread).

Communicable diseases take the greatest toll, especially in a very crowded community, resulting in what is known as mass infection or epidemics. Once an epidemic develops, great difficulty is encountered in combating it in spite of concentrated efforts by the doctors. This is because the disease spreads from one person to another very rapidly like wildfire. Today, this difficulty becomes even greater because of numerous shortages and handicaps brought about by the present war.

The only other alternative which we can employ in fighting against outbreaks of communicable disease is to stress upon its prevention. The old saying that "an ounce of prevention is worth a pound of cure," certainly more than holds true as far as prevention of man's diseases is concerned for there are some communicable diseases which medical science is helpless to remedy once it has taken foothold. Each communicable disease has a specific agent responsible for its cause. These agents are known to the public as "germs." If these so-called "germs" were large enough to be seen by our eyes, then it would be relatively a simple matter to kill or eliminate these whenever we see one. Unfortunately, however, germs are living things so small that it can be seen only after careful observation under the microscope. For this reason we must be extra cautious and always apply an ample of safety whenever we are in contact with any objects which are potentially "germ" containers. The Medical Department has a group of workers especially trained to see that objects are not only visibly clean, but sanitary as well.

These disease-causing agents are always present in people who are suffering from a particular disease. Moreover, in some diseases like typhoid and dysentery, a person appearing normal may harbor the bacteria which can infect others. The latter are known as "carriers." The germ leaves the body of the disease or the carrier by means of the sputum, stool or urine depending upon the type of infection. Discharges from the nose, eyes and wounds may also contain "germs." Whenever other people come in contact with these excreta or discharges, he can get infected, thus continuing the chain or cycle of infection. Remember that the discharges and excreta of a normal person and those which are teeming with disease-causing germs appear similar as far as our eyes are concerned.

From this cycle we notice that mass infection or epidemics can be minimized and even prevented, if we keep other people from coming in contact with body excreta and discharges which contain disease-causing germs. In order to accomplish this prevention both parties must do their share. The infected person and the carrier must be certain that his excreta and discharges are disposed of properly. The others must take precaution in seeing to it that they will not become infected. As a matter of fact, we must all establish clean and wholesome habits because many times we may be harboring and disseminating disease germs in our own bodies without having the slightest knowledge. Furthermore, aside from containing disease, improper disposal of excreta and discharges creates a definite unwholesome nuisance.

The latrine facilities such as washstands, urinals, toilets, showers, and laundries, must always be kept sanitary because disease germs may be lurking there.

About 90% of infection occurs by means of "germs" entering through our mouths. Hence, not only the food and drinks but also the utensils used in preparation and eating must be clean and sanitary. It becomes apparent that the block janitors and the kitchen personnel play an important part in the prevention of disease. They, however, cannot carry this responsibility alone. Others, adults and children alike, must do their part.

Rewards for our efforts will be paid in terms of better community health.

MEDICAL DEPARTMENT

傳染病豫防に就いて

幾多の疾病は之を傳染性と非傳染性の二種に分類される。傳染病は特に人の多く密集して住む地方に流行傳染するものである。一旦流行病が発生した場合醫者は最善の努力を盡して之が防止に勉めても尙且つ大なる困難に遭遇するのである。何となれば傳染病の傳播は餘りにも敏速であるからである。殊更戦時に於て總てのものに不足勝ちの今日、是に對抗する事は尙困難事と言はねばならぬ。故に我々お互が此の傳染病の發生流行に對抗して行く唯一の努めは之が防止に力を注ぐ事である。

昔の人もしろばぬ先の杖と言ったが嘘ではない。或る種の傳染病の如きは今日の進歩した醫學や科學の力を以つてしても如何ともする事の出来ないものがある。傳染病には各々特種の活動力を備へてゐる。之を稱して「普通細菌」と言つて居る。若し此の細菌が我々の肉眼で見えたら之を殺したり排除したり出来れば比較的容易な事である。所が厄介な事に細菌は餘りにも微細な生物であるから顕微鏡の力を借らねば見る事が出来ない。だから我々は細菌のありさうな物に接觸する場合は細心の注意を拂はねばならない。衛生局では特に表面上の清潔計りで無く衛生的方面にも清潔にするやう奨励してゐる。

どんな傳染病でも細菌の作用によらないものはない。又腸チフス菌や赤痢菌の様に健康体の人でも此の細菌を体内に持ち他人に感染させるものもある。こんな人を保菌者と言ふ。病原菌は傳染病の種類により唾や大小便に混つてその患者の体内から外部に出る。鼻目或は傷口から排出物にも細菌が混つてゐるから之に觸るれば感染する。斯の如く次から次へ絶えず感染を繰り返すものである。普通の人の排出物と澤山病原菌を有する人の排出物とは我々の見た眼では同一排出物としか見えないと言ふ事に深く注意せねばならぬ。

此の恐るべき感染と雖も防止出来ぬ事はない。それは病原菌のある人の排出物に觸れさへしなければ之を充分防止する事が出来る。之を遂行するには患者と他の人が互に注意せねばならない。流行病に置つた人の排出物は常に適當な處理をせねばならぬ。觸れさへしなければ見た文けでは決して感染するものではない。

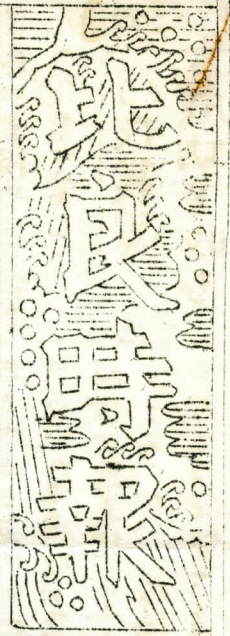
我々は常に清潔に保ち流行病に置らぬ様警戒する習慣をつけねばならぬ。何となれば知らず知らずの中に我々の体内に細菌が潜んでゐるからである。排出物の不適當な處理は不健康を生ず。

總て便器洗濯場風呂場等は常に清潔の上にも清潔を保つ事が肝要である。

流行病の約九十%は口から起る。之は唯に飲食物のみでなく食器類も清潔に保つ事が大切である。

各區の掃除係りや食堂に關係してゐる人達は此の恐るべき傳染病を防止する重要な役割を持つて居る事は明かであるが全住民各自も深く注意して頂きたい。

我々の努力はより良き社會の健康と言ふ言葉で酬いられるのである。



第九十七號

再転住問題 諮詢機関生る

當市の意を体して社会奉仕部ウオルター副部長は山の市六名川の町八名の再転住研究顧問委員を任命招集し其第一回委員会を六月十一日午前山の市職員教室に於て開催したり。ヒューストン及タートル氏も列席し「家族的転住処置」を中心に一般的討議を行ひ、引続き個人的意見開陳に入りたるも未了半は正午となり余議なく次回を十八日午前八時半より川の町行政館にて開催に決す。尚此会合をして一層効果的なりむる爲各

同訓練所の設備はシヤコに訓練所よりも勝つて居る。或る生徒は既にセントポール、ミネアポリス地方で就職した者もある。同地方の新聞は彼等に対して非常に同情をもつて居る。彼等の臨時宿泊所は次の場所である。

OSWEGO
422 METROPOLITAN
LIFE BLDG.
MINNEAPOLIS, MINN.

NYU A生徒の消息

ミネアポリスで軍事務所のフアイト氏よりの電報に依れば、シヤコにNYU A訓練所より拒絶せられた生徒はダンウダー訓練所で三週間無料教授せられる機会を與へられた。

第二回志願兵出發

志願兵五名に對し募集令が來た。六月二十五日(金)午前六時四十五分に所長室に集合出陣更に午前九時サンタファイバスでファイニックス市を後に塩湖市に向ふ。

ビント高校の名誉

全米國高校新聞記者名譽會員として山の市高生徒八名が入会した。條カホル、條セイ、加藤サキ子、中廣メリー、野崎ジヨイ、戸山ドロシー、豊田ジヨージ、吉橋フミ

交通二件

ヒルヤード氏の後任としてモリザ氏防火官に、ピート行政官に代り、グレイム氏が任官した。

比良男女青年會主催 大展覽會

七月二、三、四の三日間開催

昨年末手工芸品展覽會を開催して大成功を収めた、比良男女青年會では来る七月二、三、四の三日間独立系を祝して、山の市に於て手工芸品の大展覽會を開く事になった。出品の種類は、鉄木細工、カクマス細工、模塑、行機木工品、編物、造花、刺繍、珍石、其他昨年の展覽會の通りである。特に今回は書並に絵画もどしく出品し、欲しい出品品は六月廿九日で連絡委員会が出品カードを持つて訪問する筈である。會場は二個の食堂が四ヶの倉庫を當てることにならう。決定次第報告すると。

組合便利

靴が沢山に入荷しました。寫真館は山の市四十二区衣服店内に移転。ソリタ水空場は来る十九日(土)返りにお返下さい。昨日のフィニックス市で開かれた組合審判會、第一日に亞州側の頭痛の種子は比良ボストン西転住所の人口で消費組合が發展した之れを利用し土地を所有し遂には華州内の事業を日本人が独占してしまふと云ふにある。

野菜工場婦人用

近日中に新築落成する野菜脱水工場に婦人就働者が六人乃至十二人入用であると同工場監督信定氏は語った。

西瓜、西瓜來

前週末に川の町食堂に對して五百五十個の西瓜を配給した。今週は山の市の番である。第四十八英加の園には百三十四英加の西瓜が植付であるから充供給出来る。

独立祭の

美人コンテスト立候補

七月四日(独立祭)に行はれる山の市美人コンテスト立候補者が左の通り○○より発表された。

- 坂本トシ子 五十八区
 - 長谷川フレイス 六十一区
 - 井上トナヨ 六十三区
 - 笠井ミサヲ 五十一区
 - 川辺タミ子 六十五区
 - 久保田ツラヲ 七十四区
 - 三崎キクエ 四十四区
 - 森下ナンシー 六十六区
 - 山口マサ子 二十九区
 - 山崎ツキ 三十六区
 - 山内フランセス 四十八区
 - 山内トシ子 四十八区
 - 阿脇リリアン 三十三区
- 今日中(十五日)火曜に各区長の事務所にて皆さんの投票を望む。

流行衣裳展
大成功を収む

既報の如く十三日川の町で開かれた流行衣裳展は大成功裡に幕を閉じた。

二十一人の撰り抜きモデルに意匠を凝らした最新な綺麗さを纏はせたものである。会場からうき声はなみ。それに加えて夜は男子は相撲へ女子は之へと色分けされた形であった。幾んどこの淑女的に終始し観衆を優美と艶麗の渦中に投げ込んで總てを陶酔せしめた。

両館府対抗相撲
川の町再び優勝

去る十三日夜川の町で行われた優勝旗争奪大相撲は近來稀に見る人出であった。両館府の力士は皆奮志を横む

春

すわる同人詠草

大觀に見せまく欲りぬ大陸の
沙漠になく春の霞を
すこやかに畑に耕す同胞の
影おほるなり霞たなびく
春となれば思ひはいつか故郷の
加州の花にあかがるかな
なつかしき字び舎業だち早や二年
この他住に春逝かんとす
赤々と落ちる夕陽を背に浴びて
春の流川に釣するもよし
沙漠原桃色なせる春霞
櫻のなきと淋しとぞ思ふ
春酣けぬ一庭の緑は色深み
花の綿毛か風に漂ふ
あるかなき沙漠の草の花にさへ
普く神の息吸かゝり
つれづれの春の夕をさよよへば
名もなき草の花も見出しぬ
風情なき比良の沙漠の假住も
花は匂へり春の光に
おちこちに花つむならん乙女等の
春の霞にうけるパラソル
朝霞山肌淡き野の末に
かすかに見ゆる一と群の牛
朧月なやましきかなたをやめの
夜のうす衣纏へるに似て

- 士生 劍堂
- 池田
- 福田 緑葉
- 大迫八重子
- 藤井 無綫
- 寺崎はな子
- 三江子
- 星 花
- ふたば
- 大石 芽子
- 藤本夕浪子
- 前田
- 大塚 杏村

志願兵の身許

去月当所より三十二名の青年が米國陸軍に従軍したが彼等は他の二世と一つも変わったものでなく普通二世であることが左記の統計より知ることが出来る。

三十二名中一番年少者は十九才で年長者は三十才平均二十五才、彼等は加州の二十一ヶ所から出たものでセルマ出身が一番多く四名であった。

殆んど皆高校卒業生で大学出もあつた大半教は基督教徒で日本語を話すが読み書き者は少ない。

撤退前彼等は主として百姓又は自動車技師であり建築師が一名あつた。趣味としてはスポーツが一番多い。

山の市仏教会

十五日(土) 午後八時

野球試合

法話(三會館) 今村先生
十六日(水) 午後八時
観音講堂 三大師講
講師(三會館) 鈴木先生
十七日(木) 午後七時半
座禅会 越智先生
十八日(金) 午後八時
正信偈輪読(三會館)
松本先生

山の市

- 巨人軍 7
 - 仏 青 5
 - ラボーク 9
 - ニッパ 8
 - 三十 8
 - 日の出 6
 - バズナ 4
 - 三十一 3
- 川の町
- ラフライター 11
 - カート 9
 - デルタズ 1
 - バイキングス 0
- 本日の野球
ラフライター消防組
於五十八野球場